

公立大学協会 60 周年 記念シンポジウム

地域とともにつくる公立大学 保健・医療、福祉とその人材育成を巡って

平成 21 年 12 月 1 日 (火) 13:30~16:30 (開場 13:00)

ホテルパシフィック東京 (品川駅・高輪口 徒歩 3 分)

入場無料 (申込が必要です。先着 300 名)

■ 記念講演 1 瀬戸上 健二郎 氏 (下甕島 手打診療所 所長、「Dr.コトー」のモデル)
「ドラマより面白い離島医療 一島が育てた若き医療人とともに」

■ 記念講演 2 潮谷 義子 氏 (長崎国際大学長、前熊本県知事)
「時代と地域を呼吸する大学 ーいのちと健康と暮らしを守る人づくり」

■ パネルディスカッション

「地域とともに育む、公立大学の人材養成」

開催主旨

公立大学は、地域の切実なニーズに対応した多様な分野の学部を持ち、特色ある活動を展開することで、地域における高等教育の拠点としての役割を果たしています。このシンポジウムでは、公立大学の 6 割に学部・学科が設置されている保健・医療、福祉の分野の人材育成の実践から、現代の地域社会再生のための手がかりを探ります。

シンポジウムの前半では、離島で住民とともに医療を守り続けている瀬戸上健二郎氏と、熊本県知事として県立大学の設置行政にあたり、現在は地域とのパートナーシップの中で大学運営を行っている潮谷義子氏から記念講演をいただきます。

申込：往復はがき、メール、FAX にて「60 周年記念事業事務局」までお申込みください。参加票を返信いたします。

宛先：住所 105-0003 港区西新橋 1 - 6 - 13 虎ノ門吉荒ビル 9F 公立大学協会事務局

メール jim@kodaikyo.jp FAX 03-3501-3337 TEL 03-3501-3336

記入事項：お名前、ご所属・ご職業。往復はがきの場合は返信あて名に住所、FAX の場合は FAX 番号を添えてください。

以下企画の詳細 (講演・シンポジウムの内容)

記念講演 1 瀬戸上 健二郎 氏 (下甕島 手打診療所 所長、「Dr.コトー」のモデル)

「ドラマより面白い離島医療 一島が育てた若き医療人とともに」

半年だけのつもりで赴任した離島の診療所を、ついに30年以上守り続け、数々の難手術も行ってきた瀬戸上先生。住民との信頼関係の中で育つ若き医療人の成長の姿も交えながら、離島医療の中に今も失われていない医療の原点を語っていただきます。

【プロフィール】 鹿児島大学医学部卒。同大学附属病院に勤務後、1972年から国立療養所南九州病院で外科医長を務める。78年、下甕村（現、薩摩川内市下甕町）手打診療所所長に赴任。専門は胸部外科で、肺ガンなどの難手術も手打診療所で成功させ、専門外の内科から産婦人科、獣医まで、幅広い分野を一手にこなす。他村の診療所との「診診連携」や、全国の医大からの研修生の受け入れ、インターネットを活用した医療連携など、離島・僻地医療の改善のために日々尽力している。

記念講演 2 潮谷 義子 氏（長崎国際大学長、前熊本県知事）

「時代と地域を呼吸する大学 ーいのちと健康と暮らしを守る人づくり」

潮谷先生は、熊本県知事として県立大学の設置運営にかかわり、今は長崎県と佐世保市、地域の経済界とのパートナーシップによって生まれた長崎国際大学の学長として活躍。社会福祉の専門家として、いのちと健康を守る人材の育成について語っていただきます。

【プロフィール】 佐賀県生まれ。日本社会事業大学卒。佐賀県、大分県で社会福祉主事を務めたのち、慈愛園乳児ホーム（熊本県）の園長となる。1999年、熊本県の副知事に任命され、2000年、知事に就任。2期を務める。2009年4月、長崎国際大学学長に就任。

主な著書に、絵本「こころのメモリー」（文）潮谷愛一・潮谷義子、（絵・装丁）いわさき千鶴。「子どもを見る変化を見つめる保育」大森隆子・甲斐仁子・森山久子（編著）。

※講演内容等は変更となる場合があります。

パネルディスカッション

「地域とともに育む、公立大学の人材養成」

□パネリスト：

■今井 浩三（札幌医科大学長／腫瘍免疫学）

報告：地域でのチーム医療実習（IPE＝医療系多職種間のインタープロフェッショナル教育）

■リボウィッツ よし子（青森県立保健大学長／在宅・終末期看護学）

報告：「障害者ねぶた」へのボランティア活動を通しての教育

■加登田 恵子（山口県立大学社会福祉学科長／社会福祉学）

報告：ソーシャルワーカー養成と地域共同企画演習

■佐々木 雄太（愛知県立大学長／国際政治学）

報告：地域とともに歩む公立大学

□コメンテーター：瀬戸上 健二郎氏、潮谷 義子氏

□司会：名和田 新（福岡県立大学長／内分泌・代謝学）

最初に、地域連携、地域ネットワークを通じた教育・地域貢献の事例を 3 人のパネリストから報告します。続いて、地域創造・再生を担う人材育成や地域連携活動が、文系、自然科学系、芸術系などを含む公立大学共通のミッションとしてどのように展開されているかを佐々木学長より総括的に報告した上で、「地域とともに育む、公立大学の人材養成」の展望について議論します。

最後に、記念講演者の瀬戸上氏と潮谷氏より公立大学への応援メッセージをいただく予定です。

展示コーナー

公立大学の産学連携・地域連携によるプロダクト 地域との連携で生み出された様々な製品などを紹介します。

公立芸術系大学・学部紹介と小作品展 公立大学には 4 つの芸術大学を含め、10 大学に芸術系学部が設置されています。